

図書館をより快適に利用するための
アメニティグッズ
～岐阜女子大学図書館を例に～

これから、岐阜女子大学図書館を例にした、図書館をより快適に利用するためのアメニティグッズについての研究発表、中間報告を行います。

1.はじめに

- ◇図書館にある「便利なもの」
 - ◇筆記用具(鉛筆・メモ帳など)
 - ◇老眼鏡
 - ◇拡大鏡 など…

はじめに、研究の背景について説明します。

みなさんは図書館には便利なものがあるのを知っていますか？

私が図書館に行って貸出カウンターで本を借りている時、偶然、カウンターに虫眼鏡を借りている方がいらっしやっていて、便利なものがあるのに気がつきました。

図書館には鉛筆やメモ帳などの筆記用具、老眼鏡や拡大鏡などの利用者に無料で貸し出される道具やものがあります。

1.はじめに

- ◇どんなものがあるのか？
- ◇実際に使われているのか？
- ◇提供されていることを知っているのか？
- ◇どのように呼ばれているのか？

そういった図書館にある便利なものにはどのようなものがあるのか、それらが実際にはどのくらい使われているのか、そもそもそれらが提供されていることを利用者は知っているのだろうか、そういった提供されているものはどのように呼ばれるのだろうかという疑問が湧きました。

1.はじめに

- ◇アメニティ(amenity)とは、快適に過ごせる生活環境のことを指す。
- ◇図書館が提供する利用者にとって「あると便利なもの」をアメニティの1要素と位置づけ、アメニティグッズについて考察。

文献探索の過程で、快適性のことを「アメニティ」と呼ぶことを知りました。アメニティ(amenity)とは、一般的には快適に過ごせる生活環境のことを指す用語です。そこで私は、図書館が提供しているものの中で利用者にとって「あると便利なもの」をアメニティの一要素として位置付け、図書館におけるアメニティグッズについて考察することにしました。

1.はじめに

- ◇図書館で必要とするアメニティグッズとは何か？
- ◇図書館の利用促進につなげるアメニティグッズの提案

本研究では利用者が図書館で必要とするアメニティグッズとは何なのかを明らかにし、図書館の利用促進につながるアメニティグッズを提案することを目的とします。

2.研究の方法

◇「アメニティ」を主題とする文献の調査

→どのような分野でどのような研究がされているのか？

次に研究の方法について説明します。

まず、「アメニティ」という用語がどのような分野で使われ、どのような研究がされているのか、文献調査を行い、定義を確認します。

2.研究の方法

◇アンケート調査(調査1)

◇対象:岐阜女子大学図書館利用者のうち、
司書課程科目履修生

◇図書館施設論・図書館情報資源概論

◇目的:アメニティグッズについてのニーズの
把握

次に岐阜女子大学図書館の利用者である学生の「アメニティグッズ」に対する認識や図書館利用頻度、どのようなアメニティグッズを必要と考えているのかについて、調査1としてアンケート調査を行い、アメニティグッズへのニーズについて把握します。

図書館利用頻度や図書館への関心が高いのではないかと思われる、岐阜女子大学司書課程科目履修生に対して調査を行います。

2.研究の方法

◇聞き取り調査(調査2)

◇対象:岐阜女子大学図書館員

◇目的:大学図書館ですでに提供されている
アメニティグッズの把握

調査2として、大学図書館の中で、すでに提供されているアメニティグッズについて把握するため、大学図書館員への聞き取り調査を行います。

2.研究の方法

- ◇大学図書館が行った大学図書館利用者アンケート調査(調査3)
- ◇対象:大学図書館利用者
- ◇目的:具体的な大学図書館へのニーズの把握

今年度は、大学図書館でも利用者アンケートを行うとのことでしたので、これを調査3とし、大学図書館に分析させていただくことのできることを得た上で、独自に司書課程履修者にアンケート協力を依頼しました。この調査では具体的な大学図書館へのニーズを把握します。

2.研究の方法

◇これらをもとに大学図書館がさらに利用しやすくなるアメニティグッズの考察・提案をする

これらの調査1、調査2、調査3をもとに、大学図書館がさらに利用しやすくなるアメニティグッズについて考察し提案します。

3.研究の結果(考察など)

◇文献調査

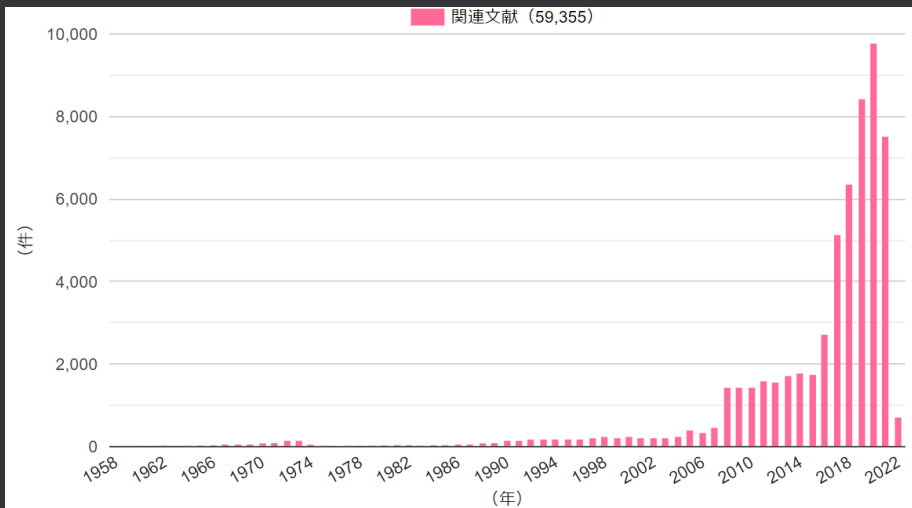
- ◇2010年代後半に「アメニティ」という用語が広く使われた
- ◇「建設工学・建設」分野が快適性の主要分野

これまでの研究結果について説明します。

まず、文献調査により、アメニティという用語が広く使われ出したのは2010年代後半頃であるといことと、ここ数年の間に、アメニティを扱った文献が急激に増加していることが分かりました。また、アメニティを扱った主要分野は「建設工学・建設」という分野であることが分かりました。

3. 研究の結果(考察など)

◇J-Globalで「アメニティ」をキーワードとした検索結果数の推移



これは、J-Globalで「アメニティ」を検索語として検索した結果得られた文献数を年ごとにあらわしたグラフです。2010年代から徐々に増え、近年においては急激に増加しています。

3.研究の結果(考察など)

- ◇「アメニティ」という用語は図書館の設備・デザイン・空間など住居に関する心地よさの視点で使われている
- ◇本研究の対象とする「アメニティグッズ」についての文献は見つけることが出来なかった

アメニティという用語は図書館の設備やデザイン・空間などの住居に関する心地よさという視点で使われている文献にも見られましたが、本研究の対象とする「アメニティグッズ」について論じられた文献を見つけることは出来ませんでした。

3.研究の結果(考察など)

◇アンケート調査(調査1)

◇アメニティグッズについて認識している人は多い。

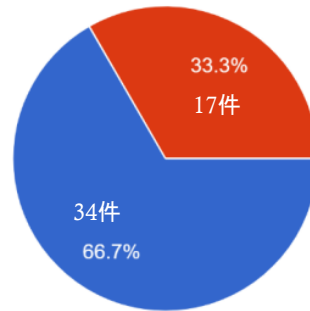


図3 図書館におけるアメニティグッズの認知度 (n=51)

●知らない 33.3% (17)
●知っている 66.7% (34)

アンケート調査(調査1)で尋ねた「図書館には便利に利用するためのアメニティグッズがあることを知っていますか?」という質問に対する回答は、「知っている」が34件で全体の66.7%でした。

3.研究の結果(考察など)

◇アンケート調査(調査1)

◇実際に利用している人は少ない。(利用したことがある人約40%)

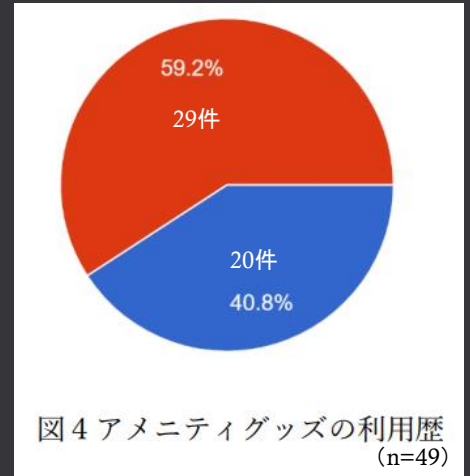


図4 アメニティグッズの利用歴
(n=49)

●ある 40.8% (20)
●ない 59.2% (29)

調査1で「図書館のアメニティグッズを利用したことがありますか?」と尋ねたところ、利用したことがあるとの回答は20件で全体の40.8%でした。

注:アンケートの取り方として、アメニティグッズがあることを知っているとは答えた34人が母数になっていませんでしたので、今後修正します。

3.研究の結果(考察など)

◇アンケート調査(調査1)

◇あったらよいと思うアメニティグッズは？

◇鉛筆、メモ帳、しおり、付箋

◇虫眼鏡、拡大鏡

◇ブランケット

◇館内マップ

◇手提げ袋

◇ブックカバー

◇老眼鏡

また、利用者があったらよいと思うアメニティグッズについて自由記述で回答してもらったところ、複数回答があったのは、筆記用具・虫眼鏡・拡大鏡・ブランケット・館内マップ・手提げカバー・老眼鏡などでした。

- ・筆記用具 6人(鉛筆 メモ用紙 葉 付箋)「調べものやメモをとりたい際に便利だから」
- ・虫眼鏡・拡大鏡 4人「文字が大きいと本が読みやすいから」
- ・ブランケット 4人「ゆったりとくつろげる、寒さで本に集中できない」
- ・館内マップ 3人「自分の欲しい資料が探しやすいから、持ちながら探すのに便利」
- ・手提げ袋 3人「多く本を借りたい場合に楽だから」
- ・ブックカバー 2人「何の本を読んでいるか知られたくないから」
- ・老眼鏡 2人「高齢者の方のために」

その他の回答として

ブックスタンド 耳栓 ヘアゴム・ヘアピン 小さいほうきとちりとり クリップボード ペン立て ペンスタンド ティッシュなどの何か拭くもの
消しカスを捨てる紙で折られた箱、もこもこ靴下 ストーブ クッション ソファ、ばんそうこう 指サック、タブレット端末、Wi-Fi、コンセント、障害者用器具

3.研究の結果(考察など)

◇聞き取り調査(調査2)

- ◇ホチキス、セロテープ、ものさし、裁断機、穴あけパンチ
- ◇OPAC検索機の横にメモ帳と鉛筆
- ◇カウンターに拡大鏡
- ◇申し出があった場合は紙袋・ブックカバーも

大学図書館での聞き取り調査(調査2)より、大学図書館には、ホチキス、セロテープ、ものさし、裁断機、穴あけパンチ、OPACの横にメモ帳と鉛筆が用意されていることが分かりました。また、カウンターに拡大鏡や、紙袋、ブックカバーもあります。



岐阜女子大学図書館に備え付けのアメニティグッズを紹介します。
カウンターの対面に作業机が備え付けられており、その上にこのような文具が用意されています。コピー機も近くにあります。



左はカウンター上に置かれた拡大鏡、右はカウンター対面の作業台に置かれた裁断機です。

3. 研究の結果(考察など)

- ◇利用者が必要とするアメニティグッズが既に大学図書館にあるものも
- ◇図書館側も積極的に伝えていない

大学図書館員の方への聞き取り調査によって、既に利用者が必要としているアメニティグッズの一部は大学図書館にあること、しかし、それを知らない人も多いこと、それに加えて、図書館側も積極的に伝えていないという状況でもあることが分かりました。

3.研究の結果(考察など)

◇大学図書館利用者アンケート(調査3)

図書館アンケート	
Q1.図書館の利用目的を教えてください。(複数回答可)	
ア 本・雑誌を借りる、返却する	イ 館内で本・雑誌を読む
ウ 館内で学習、調べものをする	エ DVD、Blu-rayを見る
オ コピー機を使用する	カ 憩いの場として利用する
キ その他 ()	
Q2. 図書館を利用しての感想などを自由に書いてください。	
Q3.その他、図書館に対して要望などありましたらご記入ください。	
例：本を探すのが大変。見つけやすくしてほしい。	

ご協力ありがとうございました。 図書館員

次に、大学図書館利用者アンケート(調査3)についてです。

2022年4月から大学図書館が行っている利用者アンケート用紙を添付しました。

大学図書館の協力を得て、この図書館アンケートの回答を65件収集し、分析しました。

3.研究の結果(考察など)

◇Q2(図書館に対しての感想)において図書館の肯定的な意見が多い

◇Q3の図書館への要望を持っている人も多い

表● Q2・Q3のカテゴリ分類

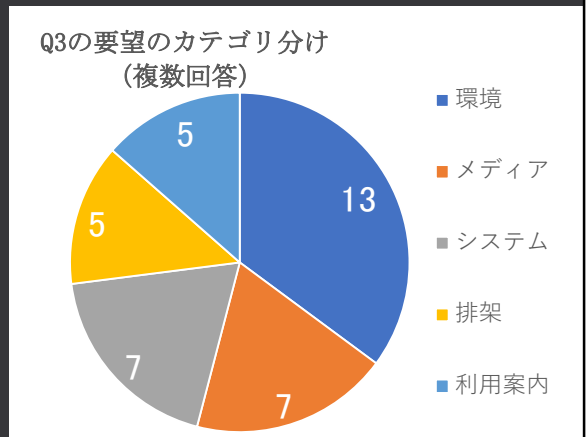
		Q3 図書館への要望		合計
		あり	なし	
Q2 の回答	肯定的	22	27	49
	否定的	3	4	7
	どちらでもない	4	5	9
合計		29	36	65

大学図書館利用者アンケートによって、図書館に肯定的な感想を持っている人が多いことが分かりました。

しかし、肯定的な意見を持っている人でも、そうでない人でも、図書館に対する要望は一定数ありました。

3.研究の結果(考察など)

◇図書館への要望では、環境に関することが多く挙げられた。



Q3(図書館への要望)をカテゴリー分けしたグラフです。環境に関することが一番多かったです。具体的には、館内の雰囲気、Wi-Fi、空間、いすや机の充実を求める意見が挙がりました。本研究との関連では、わかりやすい利用案内の提供、本を探しやすくする案内ポスターといった点が挙げられていました。

3.研究の結果(考察など)

- ◇利用者が認識しているのは一部
- ◇利用者に周知させることで利用者の図書館利用促進につながる可能性がある

ここまでの調査から、大学図書館には様々なアメニティグッズがありますが、利用者が認識しているのは一部であり、利用者に周知させることで利用者の図書館利用の利便性が上がり、ひいては図書館利用促進につながる可能性があるのではないかと考えました。

指導教員注:アメニティグッズの提供で図書館の利用者が増加するかどうかは証明するのは難しいと思うのですが、本人の気持ちとしては、アメニティグッズを提案することで顕在的利用者の利便性をはかることと、潜在的利用者に足を運んでもらいたいということのようです。

3.研究の結果(考察など)

◇既に設置されているアメニティグッズは利用頻度が低い。

→利用者が求めるアメニティグッズの充実を図る必要性

また、既に大学図書館設置されている文具等のアメニティグッズは、利用頻度が低いため、利用者が求めるアメニティグッズの充実を図る必要があると考えます。

3. 研究の結果(考察など)

◆ニーズの多いブックカバー・しおりのアメニティグッズの作成



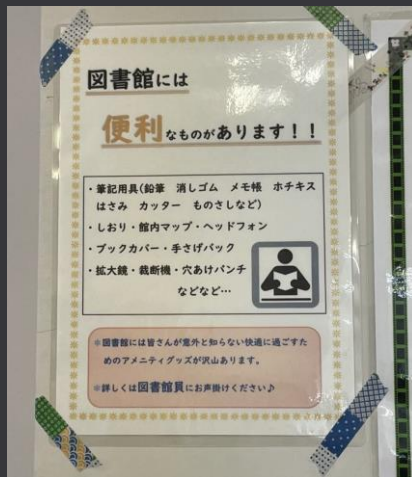
そこで、アンケートによりニーズが多かったブックカバーやしおりといったアメニティグッズを作成し、大学図書館に設置させていただきました。

注:しおりは、100均で売っている単語帳をばらして、穴の部分に100均で売っている紙紐を通して作りました。

ブックカバーはA4サイズくらいの和柄の用紙を文庫用、新書用の高さに上下折り返した簡易なものです。

3. 研究の結果(考察など)


◇ポスターを作成



図書館には

便利なものがあります!!

- ・筆記用具(鉛筆 消しゴム メモ帳 ホチキス はさみ カッター ものさしなど)
- ・しおり・館内マップ・ヘッドフォン
- ・ブックカバー・手さげバック
- ・拡大鏡・裁断機・穴あけパンチ などなど…



※図書館には皆さんが意外と知らない快適に過ごせるようなものが沢山あります。

※詳しくは図書館員にお声掛けください♪

こういったアメニティグッズについて周知するためのポスターを作成し、これも大学図書館内に掲載してもらいました。

4. おわりに

- ◇アメニティに関する文献の現状・大学図書館のアメニティグッズの状況について明らかとなった。
- ◇ニーズの多いアメニティグッズや周知してもらうポスターなどの提案を行った。

現段階で、アメニティに関する文献の現状・大学図書館におけるアメニティグッズの状況について明らかとなり、ニーズの多いアメニティグッズの提案や周知してもらうポスターの提案などを行いました。

4. おわりに

- ◇ 今後はその評価やさらにより利用者が図書館を利用したくなるようなアメニティグッズの考察及び提案をしていきたい。

今後はその評価やさらにより利用者が図書館を利用したくなるようなアメニティグッズの考察及び提案をしていきたいと思います。